

2011年5月19日
新日本製鐵株式会社

ウニガル社 第2 溶融亜鉛めっきラインの竣工式開催について

新日本製鐵株式会社（社長：宗岡正二、以下、「当社」）とウジミナス社（社長：ウィルソン・ブルーメル）との自動車用溶融亜鉛めっき製造合弁会社であるウニガル社は、この度第2 溶融亜鉛めっきライン（№2 CGL）を完成させ、ウジミナス社イパチンガ製鉄所構内にあるウニガル社の敷地内で、5月18日に竣工式を開催致しました。

竣工式には、ピメンテル・ブラジル商工開発大臣、アナスタジーア・ミナスジェライス州知事、三輪・在ブラジル日本大使、ウニガル製品のお客様など約300名の来賓の他、ウジミナス社ブルーメル社長、当社谷口副社長他、多数の関係者が列席致しました。

【ウジミナス社・ウニガル社 5月18日プレスリリース要旨】

2011年5月18日（水）に、ウニガル社は、№2 CGLの竣工式を行いました。

< 伸びゆく需要に対応する供給体制の確立 >

№2 CGLの生産能力は年間55万tであり、ウニガル社全体では年間100万t以上の生産規模に拡大致します。この能力拡大により、自動車・家電・建設等、ブラジルの各産業における溶融亜鉛めっき鋼板の需要増大に対応できる生産体制を確立致します。

< 先進技術の導入による高級鋼対応力の強化 >

№2 CGLでは、サイズ対応力を拡大するとともに、ハイテンやL処理鋼板*などの自動車向け高級鋼対応力を高め、より高度化する国内外の需要家ニーズに一層的確にこたえることができるようになります。

*L処理鋼板：需要家におけるプレス成形性を改善するために新日鉄が開発した潤滑皮膜付合金化溶融亜鉛めっき鋼板

以上のように、№2 CGLの稼働により、ウジミナス社・ウニガル社がブラジル産業界の競争力向上に一層貢献できるものと確信致しております。

当社とウジミナス社は、今後もユニガル社を通じ、自動車用鋼板を中心とする高級鋼を安定的に供給することで、ブラジルおよび南米の経済発展に寄与し、当社・ウジミナス社両社企業価値の一層の向上に努めてまいります。

(お問い合わせ先) 総務部広報センター TEL : 03-6867-2135, 2146, 2147

以 上

【参考：ユニガル社の概要】

会社名：ユニガル社 (UNIGAL Ltda.)

所在地：ブラジル ミナスジェラエス州イパチンガ
ウジミナス社イパチンガ製鉄所構内

出資比率：新日鉄 30% ウジミナス 70%

資本金：約 585 百万リアル (約 290 億円)

主要設備：溶融亜鉛めっきライン No.1 48 万トン/年、No.2 55 万トン/年

設備稼働開始：2011 年 5 月 (No.1 CGL は 2000 年 10 月稼働)